



夏だからこそ、身に付けられる力をー

今年はずいずい、本当に暑い夏になりました。間もなく一学期が終わりを迎えるようになっていますが、例年に比べてプールで泳ぐ時間も確保でき、子供達も喜びの笑顔であふれています。また、じっかの泳ぐとじっかは、「命を守る力」にもつながります。

わが、じっかも長い夏休みを迎え、多くの体験をしていくものと思います。その体験を通して、また、夏休みという期間だからこそ、多くの「力」を身に付けていくものと思います。

『虫捕る子だけが生き残る(養老語司ほか)』という本の中で、「虫捕りは子供にとって何にも代えがたいものを得る大切な体験である。」と語っています。身近で「命について考えることができる力」という上から上手に捕れるかと「考える力」「工夫する力」その他多くの力を育てることが出来ます。

なにも体験は、虫捕りだけではありませんね。食事の準備や掃除などをする「とても貴重な体験であり、」段取り力」「家庭での役割について考える力」にもつながります。現在、この貴重な体験を子供達に積ませていない傾向にあるそうです。ぜひ、長い夏休みにも、子供にどんな体験をさせることができるか、家や地域でも考えていただけたらと思います。

今年の一学期の終業式にも、「水の事故」「交通事故」「メチエアの事故」に遭わないという「生きる力」を身に付けていくのをめざして話をしたいと思います。長い夏休み、命を大事にしながら、元気に貴重な体験をしてほしいと願っています。